

多機関連携を考える研修

～キーパーソンは親だった。

どうする？障害者と高齢者の同居世帯～

障害福祉サービス、介護保険サービス、保健、行政など、各種機関の垣根を越えて、障害がある子と高齢期を迎えた親が同居する世帯支援のための、多機関連携について学んでいきます。

日時：令和元年12月17日（火） 14：00～16：30

※受付開始13：40

講師：大阪大学大学院 医学系研究科保健学専攻

准教授 蔭山 正子 氏

内容：①障害がある子と高齢期の親が同居する世帯の課題を理解する講義
②多機関連携による支援についてのグループ討議

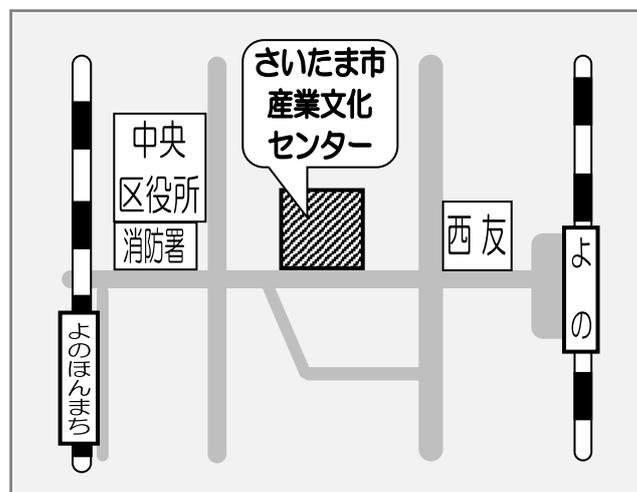
会場：さいたま市産業文化センター

301・302会議室

※ JR埼京線与野本町駅下車徒歩6分

※ JR京浜東北線与野駅西口下車 徒歩15分

駐車スペースが限られておりますので、お車でのご来場はご遠慮ください。



定員： 40名

対象： 各区障害者生活支援センター、特定相談支援事業所、高齢者福祉サービス事業所、行政(区役所、保健所、保健センターなど)の職員

お申込み： 申込書にご記入のうえ、11月20日（水）までに、FAXにてお申し込みください。

お問い合わせ



社会福祉法人さいたま市社会福祉協議会

南区障害者生活支援センター 社協ひまわり

TEL：710-8105 FAX：864-0570

11月20日（水）までに、FAXにてお申し込みください。

FAX：048-864-0570

※送付状は不要です。

(宛先)

さいたま市南区障害者生活支援センター社協ひまわり 行

(令和元年度 高齢障害者等への支援に関する研修) **多機関連携を考える研修**

参加申込書

所属： _____

TEL： _____

FAX： _____

担当者： _____

1. 参加希望者

	氏名（フリガナ）	職種・役職・勤務年数
①		
②		
③		

2 これまでに、障害者と高齢者が同居する世帯の支援にかかわったことはありますか？

・ある ・ない

↳ どのようなケースでしたか？また、どんなことに困りましたか？

3 高齢者と障害者が同居する世帯を支援する上で、どんな課題があると思いますか？

4 他の機関との連携を図るうえで、工夫されていることはありますか？

※ 参加に当たり配慮が必要な方は下記にご記入ください。

※ 定員を大幅に上回る申込があった場合など、特段の事情があるときを除いて、受講決定の可否についてのご連絡は致しません。お申込みされた方は当日、直接会場へお越しください。